

団地再生支援協会は、国土交通省の事業に採択されて取り組んでいます。

平成 29 年度住宅ストック維持・向上促進事業 採択事業

リノベーション住宅に住もう！

自分基準のわたしたちの暮らし



安心・安全の見える化 千葉で始めるリノベーション住宅の住まい



(一社) 団地再生支援協会

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

株式会社
市浦ハウジング&プランニング

ちばぎん

OKUTA

SHUKEN 秀建グループ

ROOVICE

あんしんの基準

ちば適住宅

ちば・てき・住宅

準郊外エリアの活性化を目指して

新都心から20～30km圏のエリアで、住宅ストックが更新期を迎えているものが多く、住宅ストック流通促進が求められる地域。
都心より家賃が安く、郊外より都心に近い「準郊外」ということで、都心からの便も悪くなく土地価格も安定している。
若い一次取得者層への訴求力も十分あると考えられる東葛・葛南地域は地方から東京圏への人口の受皿として高度成長期に宅地開発が急激に進んだ結果、旧地域との世帯属性的格差を生み出し、現在、人口減少・高齢化が進行し、要世代更新地区がまだらに出現している。

価値向上・安心向上の取組み

現在の住宅市場は、良質な住宅ストックが適正評価されず、維持管理、リフォームを行うインセンティブが働かない構造にある。
本協議会では、中古住宅のリフォーム等による性能向上を行った住宅の価値を含めた査定をするため、インスペクションによる劣化状況により①4段階の性能基準設定、②安心の付与として既存住宅状況調査技術者（一級建築士）が実施した調査結果に基づく補修を行い、③維持保全計画を作成することで、「ちば適住宅」独自の基準を付加して、それに満足した住宅に適合証を交付する。

中古住宅の流通促進がまちを変える

「千葉ストック住宅推進協議会」のプロジェクトは、住宅事業者、設計事務所、宅建業者、金融機関が協同し、千葉県の中古住宅のインスペクション・リノベーションを行い、
①長期にわたる耐久性 ②メンテナンス性
③地震に対する耐震性 ④時代に合った商品性（利用価値）
を満足した住宅とすることで、住宅ストックの価値向上を図るものである。

千葉ストック住宅推進協議会

団地再生支援協会、千葉工業大学、千葉銀行、市浦ハウジング&プランニング、秀建、オクタ、ルーヴィス、さくら事務所、アークブレイン、テレデザイン